



◆スケジュールとカリキュラム◆

1日目	1月	18日(土)	①	10:30~12:20	開講式～受講者自己紹介	藤本教授挨拶～はじめに	藤本
			②	13:10~15:00	ものづくりとは?	～よい設計のよい流れ	藤本
			③	15:10~17:00	流れを見切る	～プロセス分析	藤本
2日目		25日(土)	④	10:30~12:20	コストをつかむ	～原価管理と原価改善	藤本
			⑤	13:10~15:00	生産性を知る	～付加価値作業比率	藤本
			⑥	15:10~17:00	生産性を高める	～IEの基礎知識	藤本
3日目	2月	1日(土)	⑦	10:30~12:20	現場の作業観察(測定)	～IEの活用	浅野
			⑧	13:10~15:00	作業を時間で管理する	～標準作業と標準時間の設定	浅野
			⑨	15:10~17:00	作業のムダを排除する	～作業改善で原価低減へ	浅野
4日目		8日(土)	⑩	10:30~12:20	ものづくり人材を育てる①	～ものづくり人材の条件	秦
			⑪	13:10~15:00	ものづくり人材を育てる②	～新人若手の育て方	秦
			⑫	15:10~17:00	ものづくり人材を育てる③	～班長、作業長、製造課長の育て方	秦
5日目		15日(土)	⑬	10:30~12:20	流れのよし悪しを知る	～納期とリードタイム	藤本
			⑭	13:10~15:00	流れを管理する	～日程管理と資材所要量管理	藤本
			⑮	15:10~17:00	在庫を減らす	～かんばん方式と順序供給	藤本
6日目		22日(土)	⑯	10:30~12:20	コミュニケーションのすすめ方	～聴く技術、伝える技術	福田
			⑰	13:10~15:00	人を動かす	～やる気にさせるインストラクターの技術	福田
			⑱	15:10~17:00	発表の技術	～プレゼンテーションの基本	福田
7日目		29日(土)	⑲	10:30~12:20	品質を測る	～製造品質と不良率	藤本
			⑳	13:10~15:00	品質を作り込む	～検査とTQM	藤本
			㉑	15:10~17:00	柔軟に作る	～フレキシビリティ管理	藤本
8日目	3月	7日(土)	㉒	10:30~12:20	機能分析しコストを減らす	～VA及びVE	春日
			㉓	13:10~15:00	不良とは?	～商品開発ステップ毎の不良削減	春日
			㉔	15:10~17:00	不良を減らす	～不良削減活動とポカヨケ	春日
9日目		14日(土)	㉕	10:30~12:20	見える化を進め現場を改善する	～目で見える管理	国谷
			㉖	13:10~15:00	ものと情報の流れ図	～ものと情報の流れ図のつくりかた	国谷
			㉗	15:10~17:00	よどみのない流れを作る	～ものと情報の流れ図から課題を発見する	国谷
10日目		21日(土)	㉘	10:30~12:20	現場改善の事例と進め方	～現場指導の実際	小森
			㉙	13:10~15:00	コンサルティングの実際	～製造現場だけではなく改善事例	小森
			㉚	15:10~17:00	現場改善インストラクターの事例	～改善インストラクター指導事例	景山
11日目		28日(土)	㉛	10:30~12:20	製品開発の流れをつかむ	～新製品の企画・設計と開発リードタイム	藤本
			㉜	13:10~15:00	よい設計を創る	～総合商品力の向上	藤本
			㉝	15:10~19:00	修了式	(修了証授与/懇親会)	藤本

◆第1日目終了後、歓迎会を予定しています。(17:30～19:30)

★ものづくりシニア塾は、2014年より毎年1回開催し、今回が第7期です。修了生は、自社の現場改善始め、各地のものづくり改善インストラクタースクールの講師、中小企業への現場改善指導インストラクターとして活躍しています。



※当講座修了後の派遣・斡旋を保証するものではありません。

講師陣紹介 (講義順)

■藤本 隆宏 東京大学大学院経済学研究科教授/(一社)ものづくり改善ネットワーク代表理事/ものづくり経営研究センター長  
1979 東京大学経済学部卒業、三菱総合研究所入社、1984 ハーバード大学ビジネススクール博士課程入学、1989 博士号取得、1998 東京大学大学院経済学研究科教授、2002 日本学士院賞/恩賜賞受賞、2004 ものづくり経営研究センターセンター長、2013 一般社団法人ものづくり改善ネットワーク代表理事  
2005年よりものづくり経営研究センターにて「ものづくりインストラクター養成スクール」を開講、13年間で140名の修了生を輩出。2013年に(一社)ものづくり改善ネットワークを設立、代表理事に就任。各地域スクールの普及とネットワーク作りに尽力。ものづくり現場のOBのために2014年より本講座を開講。  
主要著書:『製品開発力』キム・クラークと共著、ダイヤモンド社/『現場から見上げる企業戦略論』角川新書/『ものづくり改善入門』監修、中央経済社/『ビジネス・アーキテクチャ』武石彰・青島矢一と共編著、有斐閣/『生産マネジメント入門(I)(II)』日本経済新聞社/『能力構築競争』中公新書/『日本のもの造り哲学』日本経済新聞社/『ホンダ生産システム』下川浩一らと共著、文真堂/『現場主義の競争戦略』新潮新書/『ものづくりの反撃』藤本隆宏・中沢孝夫・新宅純二郎共著、ちくま新書 他多数



■浅野 邦明 日産自動車(株)の工場、IE技術を機軸に標準時間設定・能率管理、改善及び原価・VA等の業務に従事。製造現場だけでなく、購買分野にも活動範囲を広げ、国内のみならず海外のサプライヤー体質改善活動・部品原価低減活動、海外拠点の研修生に対する教育なども実施してきた。2005年 東京大学ものづくりインストラクター養成スクール修了(1期)。群馬ものづくり改善インストラクタースクールに参画し講師を務め、現在は地域スクールの延岡、福井、富山等で講師を務める他、中小企業の改善に従事。



■秦 俊道 1970年日東電工(株)入社。最初の20年間を生産技術部門に所属し、亀山と豊橋の両事業所にて生産設備の設計・製作・据付等を担当。その後人事教育部門へ異動、職種別教育(生産技術、製造など)や階層別教育(新人～管理職)の企画・運営を担当。2006年定年退職後C&L研究所を設立、中小企業の社員教育や現場改善を指導。愛知工科大学・非常勤講師、東京大学ものづくりインストラクター養成スクール修了(3期)。



■福田 隆二 セミナー企画開催業務並びに企業内研修の企画、コンサルティング、講師派遣業務、出版編集等の会社を36年間経営。現在、東京大学大学院ものづくり経営研究センター特任研究員、「ものづくりインストラクター養成スクール」「ものづくり寄席」の開催に携わる。現在、研修・知的イベントコーディネーターとして活躍中。2013年より(一社)ものづくり改善ネットワーク理事/事務局長として全国の地域ものづくりスクールのサポート、MKNセミナー、地域ものづくりスクール連絡会、ものづくりシニア塾等の企画・運営に携わっている。



■春日 宗夫 オリンパス(株)にて東京、福島(白河工場;1年間)で開発設計、製品立上げ、製造、品質保証業務(31年間)、全社人材育成・製造人材育成業務(7年間)、2007年、オリンパス定年退職/東京大学ものづくりインストラクター養成スクール修了(3期)、日本能率協会の「ものづくりOJTインストラクター養成コース」の講師・群馬ものづくり改善インストラクタースクール講師をはじめ、和歌山ものづくり経営改善スクール、信州ものづくり革新スクールなど全国で、講師、実習指導を行っている。



■国谷 晃雄 キヤノン(株)で取手工場生産技術部長として生産技術面の基礎作りを推進。阿見工場にてキャノンの生産革新導入の基礎作りを行った。その後中国、珠海キャノン事務機工場長を務めた。東京大学ものづくりインストラクター養成スクールを修了(1期)、現在は国内外で工場革新活動を指導する。茨城県中小企業振興公社のテクノインストラクター、群馬及び長岡はじめ全国の地域ものづくりインストラクター養成スクール講師。



■小森 治 株式会社カイゼン・マイスター 代表取締役社長  
トヨタ自動車(株)出身、英国トヨタ副社長、豪州トヨタ社長、本社理事等を歴任した後、セントラル自動車(株)社長を経て、2007年に株式会社カイゼン・マイスターを設立、代表取締役としてセントラル自動車時代の仲間とともに全国の中小企業の現場コンサルタント、インストラクターとして数多くの実績を上げている。著書は、『トヨタから学んだ本当のカイゼン』(日刊工業新聞社)、『カイゼン・リーダー育成塾』(日刊工業新聞社)など



■景山 幸郎 1974年キャノン(株)入社、取手工場、阿見工場事務機・ファクシミリの生産管理業務を担当の後、86年～97年キャノン・フルターニユ社(キャノン フランス生産会社)工場長、98年～2001年キャノン・マニファクチュリングUK社(キャノン UK生産会社)社長、01年～11年キャノン・ベトナム社(キャノン ベトナム生産会社)社長、11年～14年キャノン本社ものづくり統括本部本部長常務執行役員、14年～16年キャノン電子(株)CPS推進センター所長常務執行役員を歴任。2016年退社。ものづくりシニア塾一期生として受講後、MKNの海外及び日本各地の現場改善活動に協力。



第6期(昨年)ものづくりシニア塾

